



公明党 中村 文明 10  
コロナ禍における暑さ対策

問 コロナ禍において高齢者の在宅が多くなっている状況からも、本市としてもエアコン購入費等の補助ができないか。

答 福祉部長 高齢者は熱中症になりやすいため、特に熱中症に対する注意が必要であり、暑さを避けることと、こまめな水分補給が大切である。また暑さを避けるため、適切に扇風機やエアコンを

使用することが推奨されている。

こうしたことを踏まえ、エアコン設置等に係る市からの補助については、実施の必要性を含め、関係課と検討していく。



問 コロナ禍の暑さ対策  
成人式



公明党 桐野 忠 11  
ひきこもり対策の総合支援

問 ひきこもりの家族を支えるための総合的支援として、ひきこもりサポート制度やアウトリーチ型支援は有効と考えるが、市の考えを伺いたい。

答 保健医療部長 ひきこもりサポートの役割は、ひきこもりの早期発見や支援機関へのつなぎ、当事者や家族への寄り添いなどがあり、地域の中で

増えていくことは大切と

考える。現時点では、ひきこもりサポート養成派遣事業は行っていないが、専門職によりアウトリーチ型を含めた相談支援を行っている。今後も、ひきこもり支援体制の充実を図るため、ひきこもりサポートやアウトリーチ型支援等については、引き続き調査研究したい。

問 ひきこもり対策  
災害廃棄物処理計画



無所属 伊藤 正子 12  
高齢者の生活・介護を軸に

問 地域包括支援センターのさらなる周知や介護者支援、認知症の対応など各種調査から判明した結果をどのように介護の次期計画に取り入れるのか。

答 福祉部長 第8期介護保険事業計画策定に向けて国から示された基本指針案では、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、地域共生社会の実現に向けた

取り組みの推進が示されている。第8期計画では、第7期計画で推進している地域包括ケアシステムが地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るとされているため、第7期計画の取り組みや各種調査結果等を踏まえ、現在、審議会において審議しているところである。

問 介護保険制度を考える  
ユープレイスの活用



自由民主党 栗原 瑞治 13  
インフル予防接種の重要性

問 今期は新型コロナウイルスインフル同時流行の懸念がある。特に重症化リスクが高い高齢者に早期のインフル予防接種を積極的に勧奨すべきではないか。

答 保健医療部長 今年度は、特に新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されるため、できるだけ早い時期の接種が

望まれるところである。しかしながら、例年、

早期に接種希望が殺到し、需要過多によりワクチン供給が不足し、接種予約が取れないケースが発生している。こうしたことから、接種の機会を逸することのないよう、また、医療機関の混乱を来さないよう、市ホームページへの掲載など、方法を工夫し、周知していく。

問 インフル予防の重要性



政晴会 明ヶ戸 亮太 14  
オンライン授業の導入を！

問 臨時休業のみならず、いじめなどで学校に来られない子もいる。そのような家庭に対してオンライン会議システムを活用した学習支援は可能か？

答 教育長 オンライン会議システムは双方向でのやりとりが可能となることから、児童生徒は教室で授業をするのと同様に、教員に対して学習についての質問をする時間を設

けることができる。また、現在、研修を進めている教育クラウドプラットフォームを用いることでも、児童生徒と教員がつながりを持ち、個々においてもやりとりをすることができるようになると考える。

問 コロナによる休業対応



日本共産党 池浜 あけみ 15  
福祉・防災連携の避難支援

問 福祉相談員の協力で避難行動要支援者の個別避難計画を作り地域防災訓練に生かすなど、福祉と防災の実効性ある連携が必要と思うが市の考えは。

答 栗原副市長 避難行動要支援者の避難支援を効果的なものとするためには、平常時の地域福祉から災害時の地域防災まで切れ目なく支援を継続していくことが重要であり、

今後については、他市の先進的な取り組み事例等を参考に防災と福祉が協議し、要支援者の避難支援体制の整備・充実に取り組んでいきたいと考えている。

問 役立つ罹災者支援を  
取り残さない防災を

